

● 掲載日： 2014 年 9 月 28 日 (日)

● 掲載： 河北新報 14 面

● 記事タイトル： 「お金の流れ変え活性を」

地域創造基金さなぶり

お金の流れ変え活性を

地域創造基金さなぶり(仙台市)は16日、公益財団法人への移行を記念するイベント「感謝のさなぶり」を仙台市青葉区の仙台国際センターで開いた。市民や企業・団体からの寄付金を基に、東日本大震災の被災地支援事業に助成してきた活動の軌跡を振り返り、新しい地域社会づくりに向けた役割を考えた。

公益法人へ移行 仙台で感謝の集い

地元企業や支援団体関係者ら約100人が出席し「強く進めたい」と決意を述べた。大滝精一理事長(東北)は「市民が支え、いろいろな分野の人が横断的につながる、コミュニティをパワー支えるコミュニティ財団による活動報告もあった。」と指摘した。

支援事業に助成

NPO法人にじいろクレヨン(石巻市)は子どもの遊び場づくりや心のケアの取り組みを紹介し、持続的な活動に向け外部からの支援継続の必要性を訴えた。さなぶりは2011年6月、地域創造基金みやぎとして発足。寄付金約12億7000万円を復興支援活動などにつないだ。ことし7月に公益財団法人の認定を受けた。



支援団体の代表が助成を受けて取り組んだ活動を報告した